

■ 県内分布

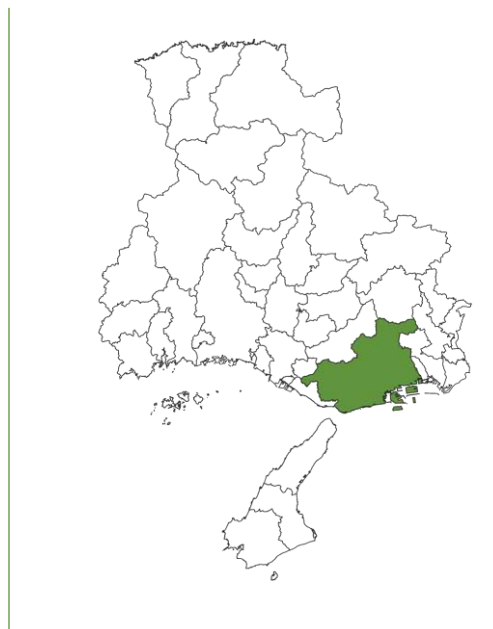
神戸市

■ 国内分布

北海道、兵庫県、奈良県

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

2008年、2011年にごくわずかの生育を確認したが、これが兵庫県で唯一の産地であった。2014年の台風による出水とそれに伴う土砂堆積によりこの唯一の生育場所が土中に埋もれ失われた。



写真提供：秋山弘之

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

小型で、茎は高さ1-1.5cm、よく分枝する。葉は狭い披針形から狭披針形、鋭頭。茎下部の葉は小さく、上部の葉は大きくて長さ4mm。中肋は葉先から短く突出する。葉縁は平坦で上半部には細かい歯がある。葉身細胞は矩形で長さ10-25μm、平滑。雌雄同株(異苞)。蒴柄は長さ3-10mmになる。蒴は円筒形で乾くと多少しわがよる。蓋は円錐形で短い嘴がある。蒴歯は線形で細かいパピラで被われる。高地の地上や岩上に青緑色あるいは緑灰色の塊をつくる。白色の菌糸が植物体につき、白っぽい色に見えるのが特徴。